

今までにないコンパクトサイズを実現！



※制御用PCは含まれません。

自動インジェクション機構と
低容量反応槽を採用

Single-Qの特長

①低容量設計

反応測定槽 400 ~ 600 μL の低容量設計！
小さい反応系でサンプル使用量が節約できます。

②自動アブライ機能を搭載

好評の自動アブライ機構を採用！
適切なタイミングでサンプルを自動アブライします。
実験者によるデータの差異を軽減！！

③新開発！！ベースライン スタビライザー

新開発のベースライン スタビライザーを搭載。
ベースラインの安定が早くなりました。これにより1回の
測定に要する時間も短縮。格段に使いやすくなりました。

④水晶発振子センサーを改良

水晶が改良された新型センサーにより、これまでと同じ
使い方安定性と再現性が向上しました。
ベースライン スタビライザーとの組み合わせによって
スムーズな QCM 測定を実現しています。

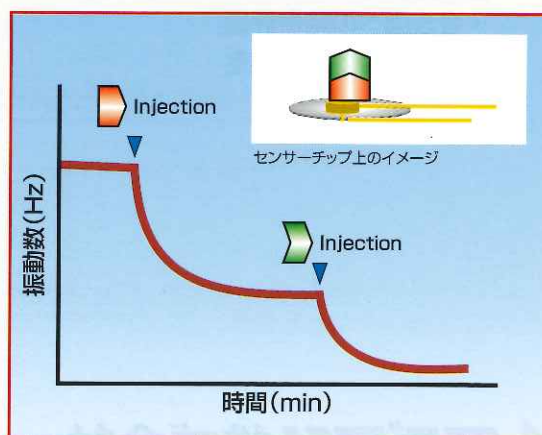
⑤低価格

QCM をより多くに研究現場にお使いいただきたい。
そんな思いから、お手頃な価格でご提供！！

本体価格：**210万円(税別)** ※制御用PCは含まれません。

■QCMとは…

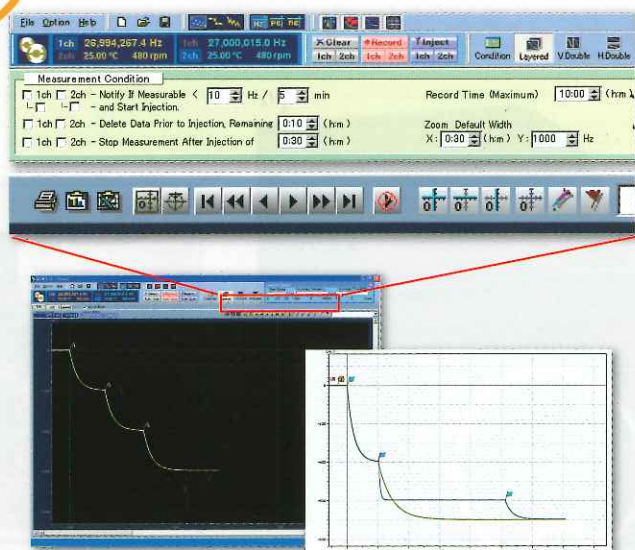
QCM は(Quartz Crystal Microbalance : 水晶微量天秤)を意味します。一定周波数で発振させた水晶発振センサー上に分子が結合すると、その重量に依存して水晶発振子の振動数が減少します。その性質を利用して、センサー上の分子の相互作用を質量の変化で検出する装置です。



新型の水晶発振子センサー (実寸大)

Easy
to USE

Single-Qオペレーションソフトウェア



データ記録モード

グラフィックモード

※開発中の画面につき、変更される場合がございます。

- グラフィック インターフェイスを採用し、見て分かりやすい操作。
- 自動アプライ機構を正確かつ簡単にセットアップできます。
- データから回帰曲線を描くことが可能です。
- 測定データは Excel にインポートすることが可能です。
- データをそのままイラストソフトにペーストできるグラフィックモードを搭載。
- Single-Q 2 台を同時に制御できる拡張性を有しています。

主なアプリケーション

バイオ系

- DNA 結合物質の相互作用
- 抗原抗体反応の評価
- タンパク質間の相互作用
- タンパク質分解観察
- バイオ・ナノカプセルの開発

材料系

- 金表面への結合評価
- 物質吸着効果の判定

仕様

測定方式	水晶発振子
発振周波数	27MHz
検出限界／感度	100pg / 4.9mm ² /センサー
発振安定性	液相ノイズ幅 / 1Hz 程度 (25℃ リン酸バッファー中)
インジェクション方式	自動式 (初回のみ)
インジェクション量	0.5μl ~
設定温度範囲	0.1~50℃ (設定単位 0.1℃)
温度制御	±0.5 (室温 25℃ での使用下)
反応槽容量	400~600μl
攪拌機能	直接攪拌方式 (攪拌棒の回転により攪拌)
本体サイズ／重量	W180×D358×H275mm / 8kg
電源	AC 100V 50/60Hz 2A
付属品	水晶発振子センサーチップ (4 本入)、専用制御ソフトウェア
オプション	専用解析ソフト

※制御用PCは含まれません。

※ご注意:仕様および外観は、予告なく変更される事がありますのでご了承下さい。

アズワン株式会社

バイオサイエンスグループ

大阪 〒550-8527 大阪市西区江戸堀2-1-27
TEL 06-6447-8633 FAX 06-6447-8683

東京 〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-12-4
TEL 03-3249-2072 FAX 03-3249-2100

URL <http://www.bio-lab.jp>

E-mail bio@so.as-1.co.jp

ご用命は信頼の代理店